

令和3年度 調布市自殺対策について

1 普及啓発活動（基本施策1，4）

- (1) 下記の啓発用ステッカーを令和元年度から庁内や市の関係施設のトイレに掲示
 令和3年度は、調布市の自治会の協力を経て、自治会の掲示板や調布市のHP
 での啓発を実施。また、今年度中に、市内認可・認証保育園、児童館、障害児施設
 の掲示板に可能な園等について掲示を依頼する予定。



引き続き、ここを付箋でとれるように工夫。

- (2) 市HPで「生きづらさを感じているあなたへ(こころの悩み相談)」を公開し、各種相談窓口を案内するとともに、情報を随時更新した。

(3) 自殺予防週間、月間の取組について

調布市では3月と9月を自殺対策強化月間として事業等を展開。

ア 相談体制の周知

東京都等の相談窓口を市HPで周知し、また市報や市HPに特集記事を掲載

イ 保健センターの各種健診事業における啓発用グッズの配布

ウ 3月の強化月間時には、トリエA館地下1階コンコース（京王線調布駅改札先）にて、チラシや啓発グッズの配布予定。



← (イメージ) 今年度の乳がん検診の普及啓発

エ 市民講演会

実施日 3月12日(土)午後 テーマ:働く女性のメンタルヘルス(仮)

実施方法:オンライン 定員50名

2 人材育成（基本施策2，4）

(1) 市役所職員等相談員向けのゲートキーパー養成講座を開催

テーマ：「死にたい」にどう対応するか

講師：伊藤 次郎氏（NPO 法人 OVA 精神保健福祉士）

実施日：令和3年12月22日（水）

実施方法：オンライン 参加人数：43人

(2) ゲートキーパーの役割についてミニ講話（チラシの配布）を実施。

民生委員，幼稚園・保育園等に出向く保護者向け健康教育でミニ講話を実施。

対象者	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(途中経過)
民生委員	140人(1回)	132人(1回)	0人(※1)	0人(※2)
事業参加市民	419人(26回)	421人(24回)	88人(5回)(※3)	69人(6回)(※4)
行政職員		29人(1回)	21人(1回)	43人(1回)

※1 毎年2月に実施している「調布市合同民生児童委員協議会」が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため0人。

※2 今年度については中止の場合を想定して市民向けに制作した動画の視聴協力要請を考えています。

※3 昨年度計画していた各関係機関等への健康教育の実施が新型コロナウイルス感染症の影響でできなかったため，実施人数が減少してしまった。

(3) ゲートキーパーの動画を作成

[調布市動画ライブラリー「身近な人の悩みにどのように気づき，対応するか 大切な命を守るためにできること」\(YouTubeへ外部リンク\)](#)



3 地域のネットワークの強化（基本施策3）

(1) 調布いのちとこころのネットワーク会議を開催し，地域の課題を共有する。

令和4年3月22日（火） オンラインにて実施予定